令和５年度　自己評価結果公表シート

作成　こうづしま幼稚園

1、本園の教育目標

集団生活を通し、人に対して優しく思いやりのある心を育てる。色々な事象について興味を持って思考し、創造していく過程を大切にする。様々な体験によって探求する力を養う幼児教育を目指している。

2、本年度、重点的に取り組む目標･計画

幼稚園の教育課程の内容を教職員で研修を図り、共通理解をし、教育の質の向上に努める。そ行事内容は、園児の発育発達を促し、保護者のニーズを取り入れたものになるよう努める。
保護者のニーズを踏まえ、より一層子育て支援に力を入れる。預かり保育について保育内容の改善を行い、保育内容の充実を諮る。預かり保育の給食の実施や土曜日預かりを開始する。未就園児保育については基本的な生活習慣の確立や集団保育に慣れること、また様々な育児相談に応じることに努める。また、地域の未就園児親子に広く幼稚園を開放し、保護者の子育て力向上促進に努める。
満３歳児入園を実施。満３歳より質の高い保育と集団生活の提供を行う。
また、保護者と各市との認定書類の受け渡しがスムーズに行えるように努める。子育て情報をアプリやホームページで掲載、プリント配布するなど適切に保護者へ発信する。
様々な感染症に対する保護者への注意喚起を継続する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評　価　項　目	取　組　状　況
行事内容の編成	満３歳児入園にあたり、職員会議を実施。３歳児クラスの行事内容の変更を行った。また、前年度の保護者の要望を受け、行事参加者の人数を増やした。地域の方に案内状を出し、園児の活動や幼稚園の保育について知ってもらう機会を作った。
園内研修の充実をはかる。	園長を中心に、日々起こる課題について研修を重ねる。毎日の子どもの姿について話し合い、保育の反省を行い、次に繋げる。自由に意見が交換出来るようにつとめる。情報の共有の為に書類を作成する。
保護者のニーズの把握につとめる。クレーム、要望に適切に対応する。	個人懇談会、保護者アンケートを通して保護者のニーズを把握する。保護者アンケートをリニューアルし、より保護者の要望を詳しく知ることができた。保護者代表（父母の会）と定期的に意見交換をし、出てきた要望に関しては、幼稚園の考えを示し、改善すべき点は改善するよう努めた。

子育て支援により一層の努力をする。	子育て相談を通じ、幼稚園が子育て支援の中核となる努力をする。その為に、教員に対して子どもの育ちについての研修を行う。保護者のニーズを受け止め預かり保育の内容の充実に努める。 ようちえん開放や未就園児親子登園などを行い、地域の未就園児に対する子育て支援に力を注ぐ。 満2歳以上未就園児クラス（たんぽぽ組・B&A サテライトスクール）の開室。サテライトスクールは子育てカフェを実施。 とよふぁみアプリやホームページへ情報提供を行うことにより、ようちえん開放は延べ 202 名が参加した。
特別支援教育の研修を重ね、全教職員の共通理解につとめる。	特別に支援が必要な園児の保護者と面談を重ね、子どもに対する共通理解を深めた。また、保健センターなどと連携をとり、個別対応について助言を受けた。その内容を全教職員間で周知し対応した。 幼保こ小連絡協議会を通して、小学校との連携を行った。小学校の授業見学をさせていただくことで、就学後の課題を見つけることができた。
ICT を利用し保護者へ情報発信を行うように努める。	おがスマを利用し保護者へ適切かつ丁寧に状況提供を行った。また、保護者へお知らせがスピーディに出来た。 父母の会もアプリを使用して情報提供を行った。とよふぁみアプリを利用し、子育て支援の情報提供を行った。
園業務のデジタル化	おがスマアプリを使用し、事務作業の効率化を諮ることが出来た。

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

おおむね良好であった	昨年度よりも行事内容を充実させることができた。 満 3 歳児入園を実施し、保護者の保育ニーズに応えることができた。 預かり保育の給食や土曜日預かりにより、就労している保護者に対する支援を行うことができた。

5、今後取り組むべき課題

課　　題	具体的な取り組み方法
安全管理･衛生管理	遊具の安全点検。劣化場所の修繕 避難訓練の充実　日常における安全確認 消防署や警察との連携 訓練実施後の改善会議 地域との交流(上津島地区の地域子育てネットワークへ参加) 衛生･感染症についての教育の実施 教職員の安全管理研修の参加
園に対する評価の把握	保護者アンケートをリニューアルし、より詳しく保護者の評価や要望を知る 地域の方、学校関係者の意見や保護者アンケートを集計し、速やかに改善をすべく職員会議を実施。保護者の意向に出来るだけ近づけるように改善する。

6、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

7、学校関係者の評価

アプリを利用して、災害時(警報発令)の情報提供が速やかに行えた。 子ども同士のトラブルについて、防犯カメラで事実確認を行い、保護者へ正しい情報を伝えることができた。 朝顔、ひまわりの栽培を行うことにより、子どもが自主的に苗の成長を見守り、自然への興味を持たせることができた。子どもがメダカを卵からふ化させ成魚になるまで飼育することで、命の大切さ、労りの心を持つきっかけとなった。 総合遊具の劣化があるため、新しく入れ替えが必要である。 また、和式トイレから洋式トイレへの改修も今後必要であろう。